

インパクトコンソーシアム 総会議案書・参考資料

事務局

頁 1 第1号・3号・4号議案関連 会長・副会長・運営委員の選任

頁 2 第2号議案 規約関連

頁 3 以降 参考資料

第1号・3号・4号議案関連 会長・副会長・運営委員の選任

(第一号議案) 以下の者を、令和6年度のインパクトコンソーシアム会長として選任してよいか、伺います

会長候補者

- 水口 剛 高崎経済大学 学長

(第三号議案) 以下の者を、令和6年度のインパクトコンソーシアム副会長として選任してよいか、伺います

副会長候補者

- 渋谷 健 GSG国内諮問委員会 委員長
- 長谷川 知子 日本経済団体連合会 常務理事
- 安地 和之 全国銀行協会 企画委員長

(第四号議案) 以下の者を、令和6年度のインパクトコンソーシアム運営委員として選任してよいか、伺います

運営委員候補者

- 日本経済団体連合会 本部長 正木 義久
- 経済同友会 政策調査部 部長 宮崎 喜久代
- 日本商工会議所 理事・企画調査部長 五十嵐 克也
- インパクトスタートアップ協会 代表理事 米良 はるか
- GSG国内諮問委員会事務局SIIF専務理事 青柳 光昌
- スタートアップ都市推進協議会 会長 高島 宗一郎
- 三井住友FG グループCSuO 高梨 雅之
- 常陽銀行 取締役常務執行役員 小野 利彦
- 第一生命保険 常務執行役員 重本 和之
- 野村ホールディングス CSuO兼情報開示担当 岸田 吉史
- 日本ベンチャーキャピタル協会会長 田島 聡一
- 日本政策投資銀行 執行役員経営企画部長 成清 正和
- りそなアセットマネジメント 常務執行役員 松原 稔

第2号議案関連 規約の決定

- (第二号議案) 昨年11月に公表した暫定規約を基に暫定運営委員会で議論修正した別紙の規約(案)を、インパクトコンソーシアムの規約として決定してよいか、伺います

規約案の主な規定

コンソーシアムの目的(第2条)

インパクトの創出を図る投融資、事業、これらを推進するための関係者間の対話等に関する実践的課題等について議論を行い、環境・社会課題を解決し、またこれを通じて経済社会の成長・持続可能性の向上を図る投融資の流れと企業の取組みを支援・促進することを目的とする

コンソーシアムの会員(第4・5条)

会員は、コンソーシアムの目的及び事業に賛同し、その活動に寄与するとして第5条の規定により申込みのあった、法人その他の組織(「法人会員」)又は個人(「個人会員」)(4条)。会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得て会員になることができる(5条)

総会(第13条)

総会は、法人会員をもって構成し、年1回定期に開催するほか、会長が必要と認めたときに開催することとし、必要に応じて、書面による開催とすることができる(電子的な手法によるものを含む)。

運営委員会(第14条)

コンソーシアムに執行機関として運営委員会を置く。運営委員会は、総会において選任された会長、副会長、運営委員により構成される。

経過規定(附則第1条)

この規約は、コンソーシアムの第1回総会における決議の日から一月を経過した日から施行する。この場合において、規約の変更その他の事情により既に提出した入会申込書の変更・取消し等を希望する者は、第5条及び第8条の規定に拘らず、同決議後一月以内に会長にその旨を届け出ることが出来る。

(参考) コンソーシアムの組織について

有識者等によりアドバイス等を受ける機構として、それぞれ以下のような目的で、「アドバイザリー委員会」、「グローバルアドバイザリーパネル」、「オーガナイズングデスク」の3つ設置し、メンバー間及び対外機関等との円滑かつ実効的な議論を進める

総会

年1回程度

- 事業方針と運営の基本的事項を決定
 - 役員（会長・副会長）の選任
- ※状況に応じ、幅広いメンバーが参加するアドホックのオンラインセッション等も検討
※若年層による議論や意見発信を行う場も検討

運営委員会

年4回程度

- 総会日程、分科会の設置・調整・進捗確認
- その他運営事項の決定

アドバイザリー委員会

年1回程度

国内の地域課題を含む
コンソーシアムの運営状況
等に助言

グローバルアドバイザリーパネル

都度開催

海外での取り組みを紹介し、
日本における活動の方向性
についてディスカッション

分科会

- 会員に分科会メンバーを広く募集
- 効果的な議論推進のため、議論を取りまとめる「座長」、座長を補佐し資料等の集約を中心的に行う「副座長」、集中的に議論を行う「ディスカッションメンバー」等を設定

オーガナイズングデスク

分科会に対し、グローバルな専門的知見に基づくアドバイスを提供し、関係者の意見収集を踏まえた多様な目線感で民間の議論を喚起

1. データ・指標

2. 市場調査・形成

3. 地域・実践

4. 官民連携促進

事務局

- 国が支援を行いつつ、各機能を委託（会議運営、イベント運営、ホームページ作成等）

アドバイザリー委員会

- 国内の有識者を中心とし、地域課題を含むコンソーシアムの運営状況等に助言を行う。年1回以上程度の開催を想定

委員長：安間 匡明 PwCサステナビリティ合同会社執行役員常務
江夏 あかね 野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長
小城 武彦 九州大学 ビジネス・スクール教授
景山 綾子 国際連合開発計画(UNDP) サステナブル・ファイナンス・ハブ シニアエキスパート
古田 秘馬 株式会社umari代表
山本 晃久 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 弁護士 パートナー

グローバルアドバイザリーパネル

- グローバルな実務動向について知見を得つつ、本邦における活動の方向性について幅広い議論を行う。海外の機関等を都度若干名程度アドホックで招聘(オンラインを含む)し、本邦関係者と議論を行う。

パネルに招聘する団体等の例：国際機関・ネットワーク、海外有識者・実務担当者等

グローバルアドバイザリーパネル企画座長 (Co-Chairs, Global Advisory Panel Planning Committee)

- リアルテックホールディングス 藤井 昭剛 ヴィルヘルム氏
- GLIN Impact Capital 中村 将人氏

オーガナイズングデスク

GSG国内諮問委員会

- 分科会に対し、国際的・専門的知見に基づくアドバイスを提供し、関係者の意見収集を踏まえた多様な目線で議論を喚起

事務局 業務委託先

EY 新日本有限責任監査法人

- 分科会を含むコンソーシアム全体について、会議運営、イベント運営、ホームページ作成等を担う